

恋心とは何か？

2,011 年 5 月 21 日(土)

文責：堀越

0. 概要；

- ・成就していない段階の「恋心」とは何か考え、「なぜその人に恋をするのか」、「恋に落ちる瞬間の心的過程はどうなっているのか」、「恋をすることに意味はあるのか」を議論した。

1. 口火；

- ・「恋心」というものを、この場では、まだ成就していない段階での純粋な主体側の感情と捉え、その心の動きを議論し、探りたい。なぜ人は恋をするのか、恋をすることに意味はあるのか、を議論していきたい。

2. 議論；

- ・上記を踏まえて、(1) 多くの選択候補者がいる中でなぜその人に恋をするのか、(2) 恋に落ちる瞬間の心の過程はどうなっているのか、さらに(3) 恋をすることに意味はあるのか、という3つの視点から、考えてみた：

(1) なぜその人に恋をするのか？

A、B、C…と他にも候補者がいる中から、なぜAを選ぶのか、Aでないといけないという心的状態になるのかを考えました；

- ① 深層心理を探ると、自分では気付かない、驚くような動機によって選択しているが、何らかの心的動機（フェロモンや外見等）により必ず選択しているはず（多くの人が知りたがっていて、心理学の分野で研究が盛んにされている）
- ② 生育環境（両親の結婚形態等）によって、特定の一人を選ばないといけないという潜在意識下の刷り込み効果が影響して、一人を選ぶのではないか

(2) 恋に落ちる瞬間の心的過程はどうなっているのか？

次に、恋に落ちる瞬間について考え、以下の心的過程の候補がでた；

- ① 一般の消費活動におけるモノの選択（例：ラーメンかカレーライスか）と全く同じ
- ② モノの選択よりもレベル・次元が高い・異なる
- ③ （モノの選択と似ているのかは不明だが）心の中・潜在意識下でブレーキがかかる
- ④ 対象も近づくように、主体と対象が歩みよる（惹かれあう）
- ⑤ モノの選択とは異なり、（気づくと）突然恋の状態となる（選択していない）

(3) 恋をすることに意味はあるのか？

さらに、恋の意味（ここでは重要性と同義）を考えてみた；

- ① 意味があると思わないとやってらんねえ（多数の共感・今日の至言）
- ② 恋することは、その先の過程（成就→交際→結婚→…）を予期させるため、途中で終わったとしても、恋の状態そのものに意味（心的にストーリーが残る、対象との関係性の中で自分が変わる等）がある
- ③ モノの選択と変わらずに、意味はない

3. まとめ；

- ・最終的な目的は「人の心とは何か」を直接捉えることにある。しかし大変難しい。そこで心を色々な角度から切り込んで考える試みをしている。今回は、心の働きの一つ、恋愛。予期していた通り、2時間の議論では語り尽くしたとは思えない。「議論の範囲が広がり過ぎたのでは？」との参加者からの声もあった。角度を変えて、また挑みたい。

- ・総勢16名の参加者の同意の下で“日経トレンディ”（記者とカメラマンの方々）の取材を受けた。議論の最中には写真撮影、また終了後には初めて参加された一部の方々の個別インタビューを受けた。

以上